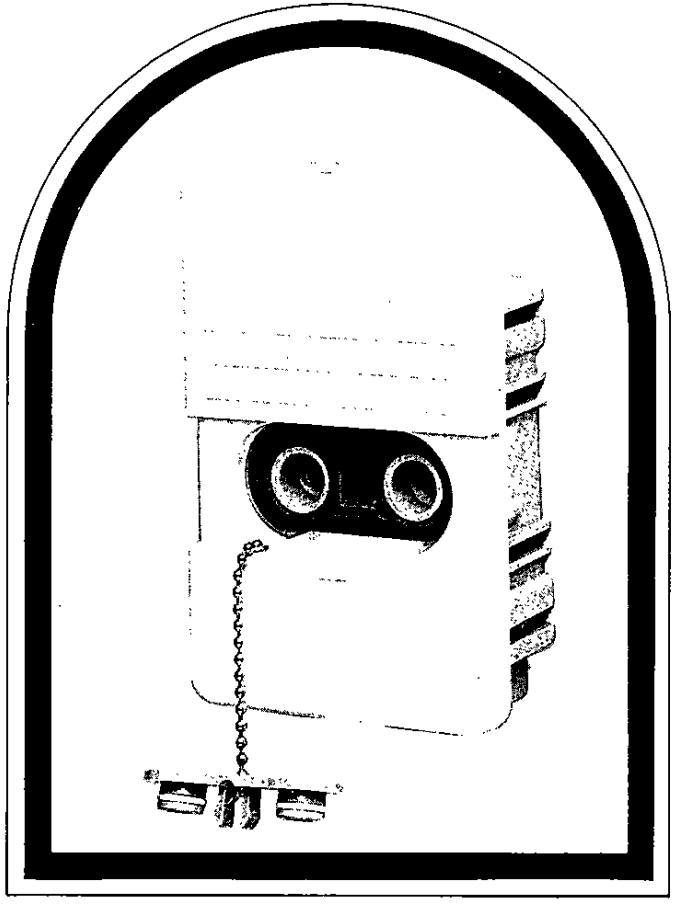
大阪ガス

樹脂管用温水コンセント

取扱説明書　49-596・49-597型

保証書付



- ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店、もしくは最寄りの大阪ガス支社にお問い合わせください。

大阪ガスのお問い合わせ先

大阪支社	大阪市西区千代崎3-2-96	電話大阪 06 (586) 3200	〒550
南部支社	堺市住吉橋町2-2-19	電話堺 0722(38)1131	〒590
北部支社	高槻市藤の里町39-6	電話高槻 0726(71)0381	〒569
東部支社	東大阪市稲葉2-3-17	電話河内 0729(82)1131	〒578
兵庫支社	神戸市中央区東川崎町1-8-2	電話神戸 078(360)3100	〒650
京都支社	京都市下京区中堂寺粟田町1番地	電話京都 075(311)7381	〒600
奈良支社	奈良市学園北2-4-1	電話奈良 0742(44)1111	〒631
和歌山支社	和歌山市本町1-5	電話和歌山 0734(31)2481	〒640
兵庫西支社	姫路市神屋町4-8	電話姫路 0792(85)2221	〒670
豊岡支社	豊岡市三坂町6-57	電話豊岡 0796(23)2221	〒668
湖南支社	草津市追分町字荒神680-1	電話草津 0775(62)5311	〒525
彦根支社	彦根市大東町12-11	電話彦根 0749(22)3131	〒522
(長浜営業所)	長浜市南呉服町3-4	電話長浜 0749(62)7171	〒526
本社・ガスビル サービスセンター	大阪市中央区平野町4-1-2	電話大阪 06 (202) 2221	〒541

大阪ガス株式会社

92.05.(00)

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスの樹脂管用温水コンセントをお求めいただき、ありがとうございました。

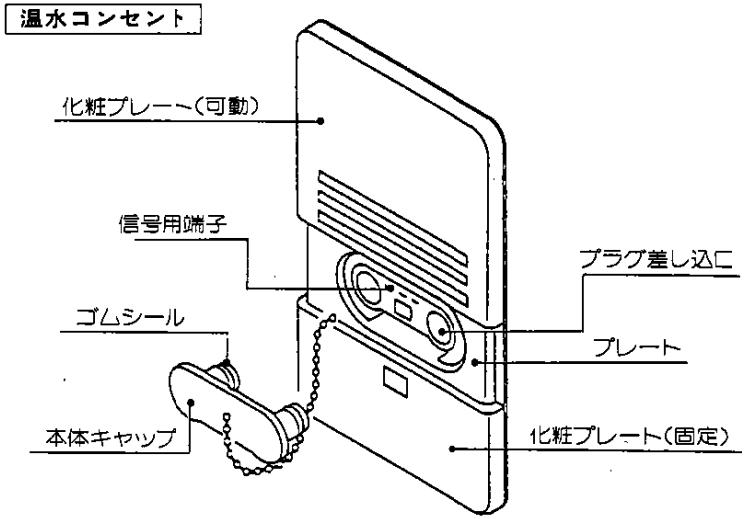
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

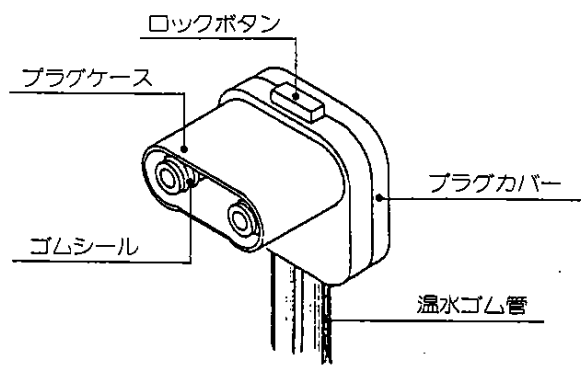
- ●各部の名称…… 2
- ●特に注意していただきたいこと…… 3
- ●使用手順…… 5
- ●使用時のご注意…… 9
- ●日常の点検・手入れ…… 10
- ●故障・異常の見分け方と処置方法…… 11
- ●アフターサービスのお申し込み…… 12
- ●寸法図と仕様一覧表…… 13

各部の名称

温水コンセント



温水プラグ 樹脂管専用(49-678型)

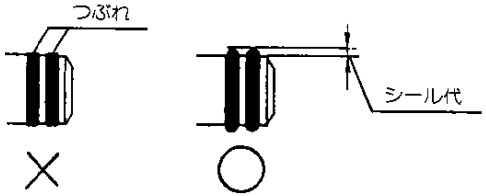


特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必らずお読みください。

温水プラグのシールゴムについて

温水プラグのシールゴムは、水もれを防ぐための大切な部品です。暖房シーズンのはじめには温水プラグを、コンセントに差し込む前に、必らず点検してください。
もし、シールゴムの変形が著しかったり、傷や、むしれがある場合には、すぐに、お買求めの販売店、もしくは、最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください。



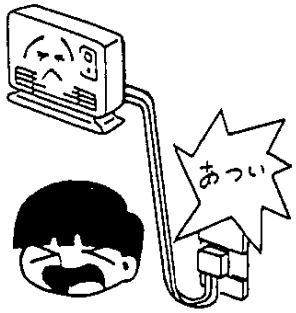
室外機(熱源機)の注水間隔について

①手動にて、暖房水を補給する熱源機の場合
注水間隔は暖房の使用時間により異なりますが、1～3ヶ月に1回程度です。
もし、1週間以内に注水が必要になったり、急に注水間隔が短かくなった場合には、水もれの恐れがあります。

②自動補給式の熱源機の場合
暖房水は自動的に補給されます。もし、水もれが発生した場合は、安全装置が働き、暖房運転は停止します。
詳しくは、熱源機の取扱説明書をごらんください。

温水ゴム管について

器具(ファンコンベクター等)ご使用中、温水ゴム管の中は、約80℃の温水が流れていますので、火傷などのないように充分ご注意ください。詳しくは、放熱器の取扱説明書をごらんください。



温水コンセントの水処理について

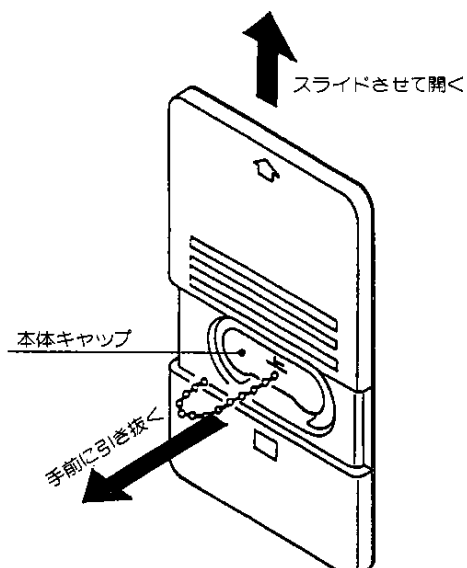
プラグを抜いた時少量の水滴(2cc程度)が落ちますが異常ではありません。
それ以外に、万一故障や誤操作によって水洩れが発生した時は、プラグ又は本体キャップを差し込み11ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」を見て、確認の上、最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください。

使用手順

1.本体キャップのはずし方

上側化粧プレートを上にスライドさせ開きます。
本体キャップの鎖りを持って手前に引き抜いてください。

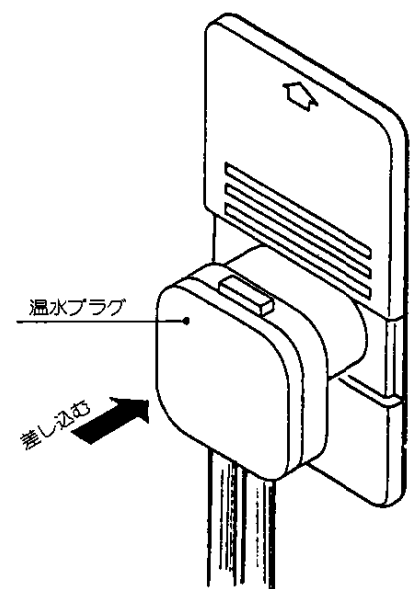
《ご注意》
はずれにくい時は、鎖りを上下方向に少し斜めに、多少強めに引っ張ってください。



2.温水プラグの差し込み方(器具の接続)

①プラグのシールゴムが傷んでいないことを確認します。
②プラグを、プラグ差し込口に、「カチッ」と音がするまで確実に差込みます。

《ご注意》
- プラグはまっすぐに、ゆっくりと差し込んでください。
- この温水コンセントは、プラグを差し込めば、通水します。

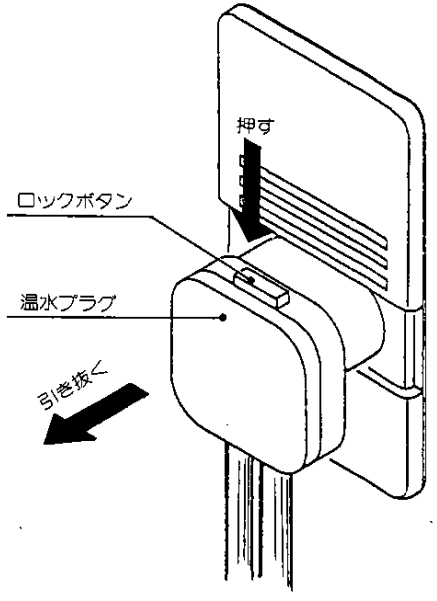


3 温水プラグのはずし方(器具のとりはずし)

①ファンコンベクターのつまみを「止」にします。
②プラグのロックボタンを押してゆっくりと引き抜きます。

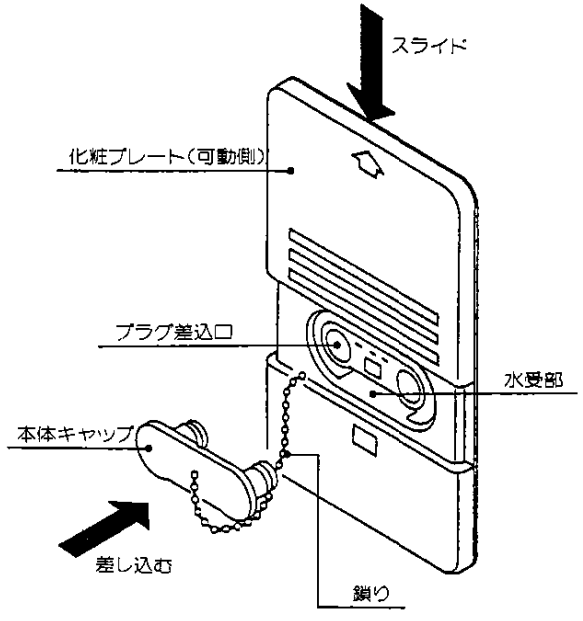
《ご注意》
プラグを引き抜きますと、少量の水滴が出ますので、ご注意ください。異常ではありませんので、ジュータン等汚れては困る物が下にある場合は、ぞうきんを床面にあてておくことをおすすめします。

プラグを抜いた時、万一故障や、誤操作によって水洩れが発生した時は、再度プラグを差し込んでから抜いてください。それでも水洩れする時は、プラグを差し込み、11ページの「故障の見分け方と処置方法」を見て確認の上、最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください。



4 化粧プレートの閉め方

①本体キャップをプラグ差込口に奥まで確実にさし込み、鎖りをプレート内の水受部に入れてください。
②上側化粧プレート(可動側)をスライドさせ閉じます。



使用時のご注意

温水コンセントについて

- プラグ差込口に、プラグ・本体キャップ以外のものを、絶対に差し込まないでください。他の物を差し込みますと水(熱水)が飛出します。又、内面に傷をつけ水洩故障の原因となります。
- 器具をご使用にならないときは、必ず本体キャップを差し込んでおいてください。
- お子様が温水コンセントにいたずらをしないようにご注意ください。

温水プラグについて

- 器具のご使用中は、温水プラグも多少熱くなりますので、取り外しの時はご注意ください。又、取り外し後、プラグの先端の凸部を押さないでください。
  (押しますと、プラグの弁が開き、ゴム管内・器具内の温水が出ます。)

温水ゴム管について

- 温水ゴム管は大阪ガスの規定のものをきっちりと差し込んで、板クリップで止めてください。
- 温水ゴム管には、ヒビ、傷などが無いか確かめてください。
- 温水ゴム管の長さに余裕がある状態でお使いになる場合は、温水ゴム管を折り曲げたり、むりに引っぱったりしないでください。
- 温水ゴム管の長さは片道1.5mを標準としています。長くしすぎた場合は暖房能力が低下することがあります。
- 温水ゴム管は古くなりますとファンコンベクターの接続部などから水もれがおこりやすくなります。ときどき点検して新しいものとお取り換えください。ファンコンベクターの取りはずしや温水ゴム管の交換は、お求めの販売店にお申しつけください。(有料)

温水プラグのシールゴムについて

- 温水プラグのシールゴムは、水洩れを防ぐための大切な部品です。温水コンセントに温水プラグを差し込む前に、必ず点検してください。
  もし、シールゴムの変形が著しかったり、傷や、むしれがある場合には、すぐに、お買求めの販売店、もしくは最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れについては、日常の点検以外はお買い求めの販売店または最寄りの大阪ガス支社に依頼してください。
- 点検で異常を見つけられたときは、お買い求めの販売店または最寄りの大阪ガス支社に修理を依頼してください。

点　検

- 安全にお使いいただくためにときどき点検してください。
  - 温水ゴム管が折れ曲ったり、ねじれたりしていませんか。
  - 温水ゴム管が古くなってひび割れ、傷などがありませんか。
  - 温水プラグのシールゴム(Oリング)の変形が著しかったり、傷や、むしれがありませんか。

お手入れ

- 化粧プレート、温水プラグは乾いた布でよく拭いてください。
- 汚れの激しいときは、中性洗剤を浸した布で汚れをとり、柔かい布でカラ拭きしてください。
  (ご注意) シンナーなどの溶剤は、絶対に使用しないでください。
- 温水コンセントのプラグ差し込口の水あかを柔らかい布等で拭き落としてから本体キャップをしてください。
- 温水プラグのシールゴム部分の汚れを柔らかい布でよく拭きとってください。

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

現象／原因	本体キャップ及び温水プラグがはずれない。	本体キャップ及び温水プラグが差し込めない。	温水プラグを抜いた時水滴がとびちる。	温水プラグを抜いた時水もれが止まらない。(本体側)	温水プラグを抜いた時水もれが止まらない。(温水プラグ側)	本体キャップの錠り切れ、化粧プレートの破損	温水ゴム管の接続部からの水もれ	処置方法	参照ページ
本体キャップ及び温水プラグの固着	○							本体キャップ及び温水プラグをゆっくり上下にゆすりながら手前に引き出す。	5・7
温水プラグ及び本体キャップの不具合		○						点検、修理を依頼する。	6・8
逆止弁までの空間部の少量の水滴（約2cc）			○					異常ではありません。プラグをゆっくりと引き抜き、床面にぞうきん又は乾いた布を当てて抜きます。	7
ゴミかみ又は弁の不具合				○				プラグ又は本体キャップを差し込み、点検、修理を依頼する。	
ゴミかみ又は弁の不具合					○			点検、修理を依頼する。	
異常な力及び衝撃による						○		点検、修理を依頼する。	
温水ゴム管の老化又は温水プラグとの締付の不具合							○	点検、修理を依頼する。	

処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 11ページ「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見て、もう一度ご確認下さい。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店または最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください。
  なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。
  ①品　名……温水コンセント
  ②品　番……プラグ差込口下部に示す

49-596
49-597

  ③現　象……(できるだけ詳しく)
  ④道　順……(できるだけ詳しく)

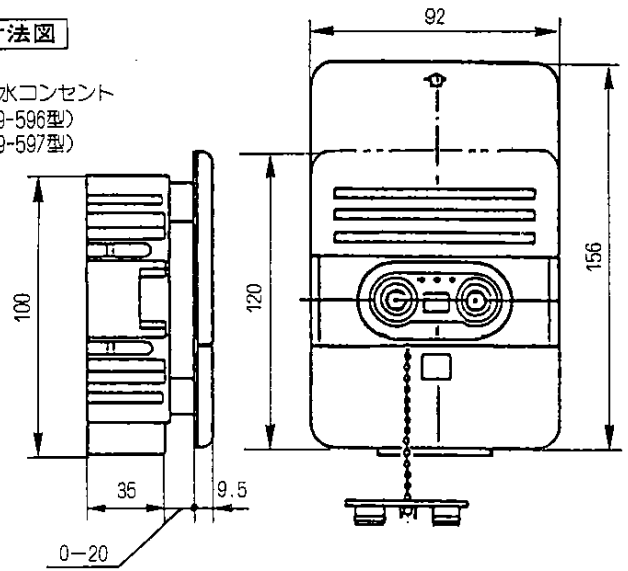
保証書について

- この器具には保証書がついています。
  この温水コンセントは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
  保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

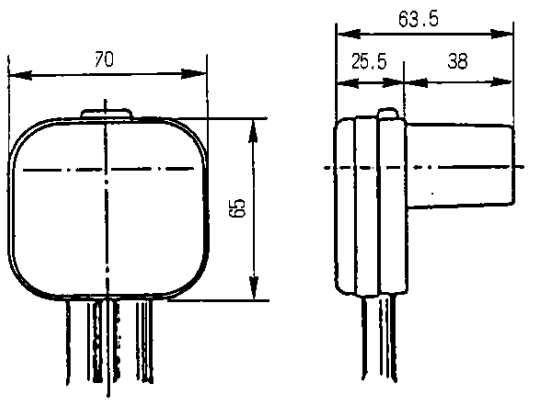
寸法図と仕様一覧表

寸法図

温水コンセント
(49-596型)
(49-597型)



温水プラグ
(樹脂管専用)



仕様一覧表

温水コンセント

項目		仕様	
		49-596	49-597
外形寸法(mm)	外箱	高さ 100　幅 72　深さ 35	
	プレート	高さ 120　幅 92　厚さ 9.5	
重量(g)		300	
接続	熱源機側	外径 φ10 × 内径 φ7	外径 φ13 × 内径 φ10
	端末器具側	専用温水プラグ	
用途		温水暖房専用	
使用可能温水温度		90℃以下	
標準温水流量(ℓ/min)		1.5	
流路抵抗(mAq)(プラグ込住復)		0.75	0.7
常用耐圧(kg/cm²)		2.0	

温水プラグ

項目	仕様
外形寸法(mm)	高さ 65　幅 70　奥行 63.5
接続	温水ゴム管
重量(g)	130
使用可能温水温度	90℃以下
常用耐圧(kg/cm²)	2.0